ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字:栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成21年 No.211 1月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

第二次補正予算、衆議院で可決
民主、参議院で審議拒否か

定額給付金、年度内支給可能か

第171通常国会が新年早々の1月5日に召集された。景気回復を内閣の最重要課題に位置づけている麻生内閣は第二次補正予算案を5日に国会に提出、6、7日に衆参両院で各党の代表質問を行い、8、9日に衆議院予算委員会で審議が行われた。13日には衆議院予算委員会で締め括りの総括質疑を行い、賛成多数で採決し、同日夕刻、衆議院本会議で可決させた。法案は参議院に送付され、今後は法案の取り扱いを巡って、与野党の激しい攻防が繰り返されるであろう。政府としては、一日も早く補正予算案を成立させ、生活対策の目玉である定額給付金を年度内に配布したい意向。民主党は政局をにらんで法案審議のための委員会を出来るだけ先延ばしする戦術に出てくるかもしれない。そうなると補正予算案はぎりぎりまで採決しない可能性もある。またしても政府は、関連法案を参議院が否決したというみなし規定を適用、衆議院で3分2の多数決でもって再議決することになるが、その時期は3月14日である。その後の地方自治体の手続きを考えると、年度内に給付金を支給することは極めて微妙な状況である。

自民党を代表して質問する岩城光英参議院議員(1月7日)

明けましておめでとうございます

ご家族お揃いで ご健勝にて 新年をお迎えになられたことと存じます。
旧年中は大変お世話になり、有り難うございました。
本年は特に何かとご迷惑をおかけ致しますが
何卒よろしくお願い申し上げます。

平成21年1月吉日

参議院議員 二ノ湯 智

参議院総務委員会　二ノ湯議員、定額給付金で質問

京都市会、補正予算条例が否決の場合、市民に1円も渡らずと総務大臣

昨年暮れの12月18日、参議院総務委員会が開かれ、委員会に付託されている国家公務員給与法、国家公務員退職手当法に対する審議を行った。自民党からは委員会の理事を務める二ノ湯議員が質問に立った。質問時間はわずかに20分と短かった。付託されている法案について質問するのが本来のあり方であるが、国民的話題となっている定額給付金について総務大臣の見解を質した。給付金問題では、民主党はじめ野党が総選挙を睨んだバラマキだと強く批判している。地方議会でも京都市会が、第二次補正予算案から定額給付金をはずすことを求める、「定額給付金の見直しに関する意見書」を民主・都みらい・共産党の賛成で採択、政府、国会に送付した。宇治市会でも1月8日、「定額給付金の見直しを求める意見書」を採択した。定額給付金を支給するために地方自治体は、補正予算の条例案を提出、議会で必ず可決しなければならない。支給反対の意見書を採択して、支給するための条例に賛成をするということは矛盾しており、反対する可能性が高い。その場合、京都市で総額220億円にのぼるといわれる定額給付金の行方はどうなるのか。反対もあるが、期待して、待っている人もある。関心の高い定額給付金について、二ノ湯議員が鳩山総務大臣に総務省の見解を質した。

総務委員会で質問する二ノ湯議員

◎二ノ湯智議員

定額給付金についてお伺いいたします。景気回復の一環として、定額減税案が検討されましたが、簡素で即効性が高いということで定額給付金ということで落ち着きました。これにつきまして民主党、共産党の皆さんからは、政府、与党の総選挙を睨んだバラマキだという非常に強い反対の声があることも承知しております。定額給付金の配布の実務は地方自治体が担当いたします。この事業は市区町村の自治事務でありますが、給付費と事務費を国が100％面倒をみるわけです。国会で第二次補正予算が成立した後で、定額給付金を支給するための条例を首長が提案して、議会で可決した後に配布するということですね。ところで、12月16日、京都市会で、民主党、共産党の共同提案で、定額給付金の支給の中止を求める意見書が採択されました。2月の予算市会で、定額給付金に関する補正予算の条例案が通らない、否決される可能性があります。そういうことになれば、約147万人の京都市民がもらえなくなる。現実にはそんな事態にならないと思いますが、もし条例が否決されれば、どうなるのか大臣の見解をお聞かせ願います。

◎鳩山総務大臣

定額給付金につきましては、二ノ湯議員がおっしゃったように即効性があるということでございます。今年前半、特にガソリンが高かったり、後半の景気の中で、雇用が打ち切られた方はもっと深刻でございますが、どの家庭でも、ボーナスが減った、給料が減った、物価は上がったというような問題等がありますから、緊急の家庭への支援ということで、2兆円の定額給付金ということになっていったというふうに考えております。取りあえずの景気の反転攻勢のきっかけをつかむための2兆円と考えておりまして、出来るだけシンプルな形で全家庭に行くということを大原則にするわけでございます。京都市会で補正予算が否決されるようなことになれば、これは自治事務でございますので京都市民には1円も差し上げるわけにはまいりません。

参議院本会議で雇用確保の緊急決議
与野党一致で決議

アメリカ発の経済情勢の悪化で、超優良の企業をはじめ多くの企業で業績が急速に落ち込み、期間社員、派遣社員のリストラが進んでいる。仕事にあぶれ、社宅の立ち退きにあった人々の存在が、今や社会的な問題となっている。参議院では1月7日の本会議で、国民生活の安定を図る為に政府、企業に、雇用と住居に関し、万全の対策をとるよう全会派の賛成で決議案を採択した。

雇用と住居など国民生活の安定を確保する緊急決議

平成二十一年一月七日
参議院本会議

現在、世界の金融市場は百年に一度とも言われている危機に陥っている。とりわけ非正規雇用者を中心に失業者が急増しつつあり、国民の雇用不安が広がっている。今後、正規雇用者を含む大量失業者の発生が憂慮される。

政府は、このような事態に鑑み、離職者の住居など生活の安定の確保、円滑な再就職、職業訓練の実施など必要な支援を機動的に行うとともに、生活保護制度等の活用について緊急に全力で取り組むべきである。

企業は安易な解雇や内定取り消しにはしる事なく、雇用の維持、確保に全力で取り組み、政府は、企業に対し雇用維持のための十分な支援を行うべきである。

右決議する。

新年のご挨拶

参議院議員　二ノ湯　智

あわただしい新年の幕開けとなりました。現在は我々がかって経験したこともない経済危機だといわれています。100年に一度あるかないかの深刻な状況だともいわれています。確かに、就職内定者の取り消し、相次ぐ派遣労働者、期間社員の解雇、住宅のない人々の状態は深刻な問題です。これらの問題に政府も真剣に取り組む決意ですし、国会も雇用、住宅の確保を求める決議を採択しました。しかし、新聞、テレビ等のマスコミは少し大袈裟に騒ぎ立てているように思えてなりません。私たちの先輩は今よりもっと厳しい経済不況を体験しています。昭和4、5年頃の昭和大恐慌の東北地方では、餓死者が出る、借金の担保に娘を遊郭に売るという悲惨なことも起こりました。東京帝国大学卒業生の就職率が約30％ほどで、まさに大学は出たけれどといった酷(ひど)い状態でした。これらの苦難も先人は克服しました。終戦後の廃墟の跡を見て、当時、誰が今日の日本の繁栄を予想したことでしょう。勤勉に務め、真面目に働き、乏しきを分かち合い、お互い支えあい、助け合って、見事に世界の奇跡とも言われた復興を成し遂げました。そんな先人たちの苦労を考えたら、今日の日本の状況はそんなに深刻ではないと考えます。極端な悲観主義に陥らず、頑張れば新しい道が必ず切り開かれと確信しています。協力して立派な国づくりを目指してまいりましょう。今年も何卒ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

年頭所感

参議院議員　西田昌司

世界的な不況で不安な年明けとなりました。この不況の震源地はアメリカですが、その原因は、この十数年来世界中で行われてきた規制緩和や市場原理主義にあります。東西冷戦が終結して以来、世界中の国がアメリカに倣ってきたのです。世界が一つになって巨大なバブルを生み出し、それが破綻したのです。

日本でも、なんでも官から民に任せよという大合唱の下に、政府や地方自治体の予算は毎年減少し、地方経済は疲弊の極みです。そこへ民が急激で大幅な雇用調整をすれば、国の経済がもつはずがありません。

こうしたことを踏まえ、今すべきことは、まず、官から民・規制緩和・市場原理主義という政策の根本的見直しです。そして、民に活力を与えるためにも、官が思い切った投資を積極的に行うことが必要です。医療や介護、福祉なども予算を増やし、国民に安心感を与えなければなりません。

実は、こうしたことが第二次補正予算や来年度の当初予算にはしっかり取りこんであるのです。世間では給付金のことばかりが取り沙汰されていますが、枝葉末節の議論に終始している場合ではありません。麻生総理には、前内閣の誤りは率直に認め、基本政策の大転換をしていることをきちんと国民に説明し、その上で信を問うて頂きたいと思います。それしかこの困難を乗り越える方法はありません。私も二ノ湯先生と一緒にしっかり麻生総理を支えていきます。本年もよろしくお願い致します。

地域活性化・生活対策臨時交付金 平成20年度第二次補正予算で手当て

年明け早々の1月5日に提出された第二次補正予算が13日の衆議院予算委員会で締めくくりの総括質疑が行われた後、賛成多数で採決され、さらに予算関連法案が関係する委員会で採決され、夜、衆議院本会議に上程されて可決した。今後、参議院の審議に時間を要するために、補正予算が正式に成立するにはまだ相当な時間がかかる。この補正予算案には「定額給付金」だけでなく、地域活性化、地域創造力の推進をはかるための地域活性化・生活対策臨時交付金6千億円も含まれている。交付を受けるには各自治体で地域活性化等に役立つインフラ整備等の実施計画を策定する必要がある。各自治体では目下、計画を策定中である。担当する内閣府(地域活性化推進担当室)では地域経済の疲弊が著しい団体や財政力の弱い団体、離島や過疎等の条件不利地域等に配慮して交付額を算定した。京都府全体では総額48億8千6百84万9千円となる。京都府関係の市町村交付予定額は表の通りである。

地域活性化・生活対策臨時交付金(単位：千円)

市町村	算定額	市町村	算定額
京都市	663,158	木津川市	157,744
福知山市	473,922	大山崎町	12,916
舞鶴市	213,003	久御山町	0
綾部市	240,919	井手町	41,771
宇治市	153,144	宇治田原町	46,088
宮津市	139,736	笠置町	64,703
亀岡市	212,047	和束町	110,073
城陽市	104,393	精華町	45,238
向日市	66,266	南山城村	104,793
長岡京市	59,220	京丹波町	357,025
八幡市	95,998	伊根町	122,666
京田辺市	73,559	与謝野町	189,429
京丹後市	610,066	合計	4,886,849
南丹市	528,972		

二ノ湯議員、産業大学で講演 難しい学生相手の講義

京都産業大学法学部教授の溝部英章教室では、地方自治の第一線で働いている人々を招いて、日本の地方自治の現状と課題を聞く「地方自治未来論」講座を開いている。さる1月8日、二ノ湯参議院議員が講師として招かれ教壇に立った。議員は事前に現在の地方自治の現状と課題について準備をして臨んだが、今の学生がどのような興味を持っているのか分からないので、溝部教授が意図しているような話が出来たか、はなはだ疑問である。学生相手の話がいかに難しいかが体験できた1日であった。当日、二ノ湯議員が「新しい時代の地方議員と地方議会」と題して話した内容は次の項目である。

講演要旨

一、自己紹介
一、明治時代から今日までの自治体の数
一、明治時代の自治体の事務
一、戦後の地方自治体の事務
一、地方自治の本旨とは
一、残された地方分権の課題
一、地方議員の身分と待遇
一、政務調査費
一、地方議会議員共済年金
一、地方分権時代と地方議会
一、市民に身近な地方議会のあり方
一、現在と過去の不況の比較

歩くことは健康の基本

第186回 みんなで歩こう湯歩会（参加者47名）

東本願寺にて

第187回 みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**1月25日(日)**
・集合時刻：午前9時（時間厳守）
・集合場所：地下鉄北大路駅（南出口）
・コ　ー　ス：北大路駅→大徳寺→今宮神社→建勲神社→船岡山公園→十二坊→千本釈迦堂→北野神社解散

。今年の干支にちなみ北野天満宮で商売繁盛、家運隆昌を祈願します。当日は初天神で境内は賑わいます。是非ご参加ください。

（当日）☎090-1956-7460

歩こう会実施有無についてのお知らせ
今後は降水確率に基づいて決定します。
当日のNHK総合　午前6：55頃の天気予報で京都南部　降水確率40％以上の場合は中止とさせていただきます。ご理解をよろしくお願い致します。

身辺雑記

一、今年は9月までに必ず総選挙が実施される。立候補予定者は年末年始、各種会合を回り、まさに臨戦態勢。こんな状態が半年以上も続いている。もはや体力、気力、選挙資金も限界に近づいている。

一、昭和天皇が崩御されたのが昭和64年1月7日の早朝であった。この知らせを伊勢神宮初詣の車中で聞いた。直ちに元号が改められて平成となったのがつい昨日のような気がするが、今上（きんじょう）陛下が即位されて早くも今年は20周年となる。

一、年末の大晦日。買い物客でごった返す錦市場へ栗、棒だら、黒豆を買いに行った。前に進めないほどの賑わいであった。携帯電話を掛けている若い女性が「世間は不景気やと言っているのに、ここにいたらそんな気が全然せんわ」と大きな声で話していたのが印象的であった。

一、冬になると昔、母親が漬けていた白菜の漬物の味を思い出す。いつか私も味を再現したいと考えていた。年末に、白菜、大根、糠を農家の知人に用意してもらい漬けた。正月に樽から出して食べたが今ひとつの感がする。塩加減が難しい。

一、NHK大河ドラマ「天地人」が始まった。東北上杉家の家臣で、「義」、「愛」の精神で生き抜いた直江兼続が主人公。原作者の火坂雅志は私の好きな作家。簡潔、流れるような文章に魅せられている。毎日曜日が待ちどうしい。

一、私は右翼でも極端な国粋主義者でもないが、国旗、国家には一人の国民として、日頃から敬意を払わなければならないと思っている。祝祭日には自宅に国旗を掲揚、自動車にも小さい国旗をつけ、靡（なび）かせて走っている。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

夏まつりのご案内

ご好評いただいておりました恒例のビアパーティが、ホテルの改装が終わったため再開することになりました。是非ともご期待ください!!

日時　**8月5日(水)・6日(木)**

場所　**ホテルグランヴィア京都**（JR京都駅ビル内）**3階宴会場**

費用等、詳細につきましては、後日ご案内いたします

二ノ湯さとし京都事務所
TEL 075-315-2228 FAX 075-315-2310